

遠隔地高校の授業配信を視察

北海道高等学校
遠隔授業配信センター

3月19日、公立通信制高等学校・友朋高校内に開設している「道高等学校遠隔授業配信センター」を訪問し、授業を視察しました。

道内の小規模高校では、教員不足などから大学進学などをを目指す生徒が、希望する教科や科目を履修できないことがあるため、小規模校に在籍する進学希望の生徒を支援するた

め、2021年4月から遠隔授業配信を行っており、今年度は道内の31校で861人が受講しています。

道内のどの地域で学んでいても、生徒が可能性を伸ばすことのできる教育の提供を支援してまいります。



厳冬期の避難所について学ぶ

1月29日、「厳冬期における避難所運営・宿泊演習」が札幌市北区体育館で開催され、中野渡志穂道議と一緒に視察しました。

能登半島地震の支援にも行かれた、日本赤十字北海道看護大学の根本昌宏教授の講演で、災害関連疾患を防ぐため、避難所でのトイレ(携帯トイレ、簡易トイレ)、食事(炊き出し、キッチンカー)、就寝環境(段ボールベッド)、暖房など生活環境改善の重要性を改めて学びました。今後もこうした避難所

運営ができるよう議会ですっきりと取り上げてまいります。



展示された防災用エアートント

●●● 皆様の声をお寄せ下さい ●●●

森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21
TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043
URL <http://kmpplan.net/usr/mori/>
E-mail sigemori@seagreen.ocn.ne.jp

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

森しげゆきプロフィール

- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 令和5年 同7期目当選
- ◆北海道議会
 - ・農政常任委員会 理事
 - ・新幹線・総合交通体系対策特別委員会 理事
- ◆北海道議会 公明党議員団 顧問

北海道新幹線 難関工事箇所

渡島トンネルを視察

視察を基に委員会でも質問も

10月6日、道議会公明党として、2038年度末以降に開業が延期になった新幹線の札幌延伸で、延期の大きな要因となっているトンネル工事の状況を視察しました。

北斗市と八雲町にまたがる渡島トンネルの台場山工区では地盤が軟弱なため、薬剤で固めた上で掘り進め、補強のための鋼材をトンネルの上部だけでなく、下部にも追加し、圧力に耐えられるようにしていました。



通常の工法では、1カ月に約70メートル程度は掘り進められるところ、現状では20～30メートルとなっております。今後、地盤不良の部分をボーリング調査して、工期を見極めるとのことでした。

こうした視察を基に、11月6日、道議会新幹線総合交通体系対策特別委員会で、早期開業に向けて質問しました(=写真左)。

道としても「国に対して、開業時期を早期に示すと共に、新たな技術導入を視野に工期短縮を求めている」との答弁がありました。



鳥インフルエンザ発生の白老町を訪問

10月29日、道議会公明党として、白老町内の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザ調査のため現地を訪問し、道胆振総合振興局の牧野充局長などから、防疫作業の現状をお聴きしました。

今回、はじめて作業の迅速化や道職員の負担軽減に向け、殺処分など防疫作業の一部を民間事業者へ委託して行なわれました。

道議会公明党としても、これまで民間事業者との連携を提案してきており、今後も支援体制の強化に取り組んでまいります。



北海道議会議員
〈札幌市白石区〉
森しげゆき通信



2025
秋冬号



価格高騰に「コメ離れ」懸念する声も――

11月10日、岩見沢市内で米を生産している農家の皆様から、米生産の現状についてお話を伺いました。

昨年から主食用米が高騰し、政府は当初は米価格高騰の要因を「生産量が需要量より不足していた」と分析、米の増産方針でした。ところが、政権が変わって「需要に応じた生産方針」を掲げ、事実上の方針転換となりました。



こうした中、農家の皆様からは「生産コストが高止まりの中、これまでの米の価格は安過ぎたと思うが、高すぎると米離れを心配している」また「米を再生産できるよう補償してくれる制度を作ってくれと安心して生産できる」との声をいただきました。

こうしたご意見を基に、持続可能な米づくりの確立に向け、しっかりと取り組んでまいります。

工業試験場の成果発表会を視察

6月3日、札幌市内のホテルで開催された道立総合研究機構・工業試験場成果発表会を視察しました。

近年の働き手不足を背景に、AIを活用したブロッコリーの品質検査の自動化で、大幅な人員削減が見込まれるそうです。

また、人手による除草作業が多大な負担となっている中、AIにより自動的に雑草と作物を認識し、雑草を除去する小型ロボットも展示されており、こうした工業試験場の取り組みを応援してまいります。



建設工事の進捗状況を伺う

千歳市・ラピダス社を訪問

1月9日、千歳市内で建設中のラピダス半導体製造工場の進捗状況を清水敦男・代表取締役専務よりお聴きしました。

4月からの試作ライン稼働に向け、世界でも例がない回路線幅2ナノメートル級の半導体製造に欠かせない「極端紫外線(EUV)露光装置」も搬入され、準備は順調に進んでいるとの説明を受けました。

今後も次世代半導体の製造が北海道経済の活性化に繋がるよう取り組んでまいります。

※7月18日、ラピダスは試作した回路線幅2ナノメートルの半導体の動作確認に成功したことを明らかにしました。



万全のヒグマ対策求める



9月16日、第3回定例道議会で公明党を代表して質問しました。

人口減少対策、違法開発問題に対する対応、米国関税措置に対する中小・小規模事業者支援、地域医療への支援、道立高校の本格的なエアコン設置、ヒグマ対策、特殊詐欺の抑止などについて質問しました。

道内においても相次ぐヒグマの出没で、人身被害も続いており、9月からは、鳥獣保護管理法が改正され、ヒグマが住宅街に侵入し、銃猟以外の方法で駆除できない場合、市町村長の判断でハンターが発砲できるようになりました。

一方、ハンターも高齢化が進んでおり、人材育成が急務となっていることから、今回の質問で、道立の射撃場センター(仮称)を設置し、ハンターの育成に取り組むよう提案しました。

道としても、道内外の射撃場を調査しており、猟友会とも連携して人材育成に取り組んでいくとの答弁がありました。



道議会予算特別委員会で質問



3月11日に開催された、第1回道議会定例会予算特別委員会で質問しました。

国は、医療機関以外の介護施設、公民館、郵便局などでもオンライン診療が受けられるよう医療法の改正を進めようとしており、本道においても、オンライン診療など遠隔医療の一層の促進について質問しました。

道からは「住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、遠隔医療をはじめ地域医療の確保に取り組んでいく」との答弁がありました。

道からは「住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、遠隔医療をはじめ地域医療の確保に取り組んでいく」との答弁がありました。